

郡上北高校で 高校生ふれあい懇談会 が開催されました



1月30日（水）郡上北高校において、高校生と日置市長が市政などについて幅広く意見を交わす高校生ふれあい懇談会が開催されました。この懇談会は、大学等への進学や就職など将来への大きな転機を迎えている高校生みなさんに、市政に関心を持ってもらうことや、高校生が感じている郡上市への思いを語ってもらうことを目的に、市内の高校2校において隔年で順に開催しています。

高校生ふれあい懇談会

第1部として、2年生全員を対象に市長より郡上市の人口や財政など、市の状況や取り組みについて講話があり、その後、第2部では、生徒代表との意見交換会が行われました。

市長への質問

◆自分が市民として郡上市に貢献できることを考えている。市民の協力が必要なことは何か。

市長 これからの地域づくりは、行政のみで進めることはできない。市民のみなさんが、地域のことを自分事として考えていただくことが非常に大切である。

◆高齢化が進んでいるが、福祉関係の人材不足や施設改善についてどのように考えているか。

市長 高齢化が進めば、日常生活において手助けを必要とする人が多くなり、地域で支援していくことがより大切になる。また、介護・福祉職の人材は不足しており確保に努めている。福祉分野で働く若い人が、将来、郡上へ帰ってきてくれるような施策も検討したい。

◆郡上市の観光誘客は、主にどのような人をターゲットにし、また、どのような施策を行っているのか。

市長 郡上市を活性化するためには、国内外の観光客など郡

上市に訪れる人々が増加し、市内で消費してくれることが重要だと考える。そこで、「観光立市郡上」を政策の旗印として掲げ、さまざまな施策を行っている。

◆環境について、生活環境や自然環境への対策は何かしているか。

市長 郡上は、自然公園の中に住んでいるようなものであり、環境には特に配慮が必要である。合併前から長良川などの水環境を守るため、公共下水道や農業集落排水処理施設を建設するなどの対策を行っている。

◆地球温暖化対策についての施策はあるか。

市長 自然再生エネルギーの活用として、小水力発電を白鳥の石徹白や阿多岐、明宝などで実施または計画している。そのほか、木質燃料を使用するストーブ設置などへ補助を行っている。

◆市の借金が、この10年間で300億円返済されていることに驚いた。また、子育て施策が大切に考えられており安心した。

市長 市の借金を増やさないよう努めている。また、子育て施策については、他の市町村と比較しても良い環境だと考える。

◆最近、少子化が進んでいるが、それは郡上市のみでなく全国的な傾向であることが理解できた。

市長 先進国は、少子化が進んでいる。理由として、医療技術の進歩により、乳幼児の死亡率が減少した反面、昔のように、多くの子どもの産まなくなったことや経済的負担が増えていることなどが考えられる。また、20年後の子どもの数は、現在の0歳児などの数と合計特殊出生率との関係により、ほぼ決まってしまうことから、少子化対策は長期的な視点で考えなければならない。

◆講話を聞いての感想

◆郡上市の貴重な歴史や文化など良いところを受け継ぎ、生かしていきたい。

◆子育てなど素晴らしい施策が多くあることを知ったが、知らない人も多いと思うので、もっとPRが必要。

◆行事などを通じ各地域がもっと交流を行い活性化してほしい。また、食の祭典などのイベントを市外で開催してはどうか。

◆郡上には、良いところが多くある。それらをPRするには、若者の力を活用するべきである。そこで、市内に大学など、若者が集まる場所や、就業場所を増やす施策が必要だと感じる。

市長 若いみなさんに期待している。お話しいただいたことをみなさんの力でも取り組んでほしい。